

自然災害から命や生活を守る



防災チェックサービスのご案内

私たち損害保険のプロフェッショナルと自然災害への理解を深め、万が一の際に備えませんか？

7月～9月限定

関東大震災が発生した9月1日は「防災の日」

と定められており、2023年は震災発生から100年の節目の年です

「防災の日」は、政府、地方公共団体等防災関係諸機関をはじめ、広く国民が台風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波等の災害についての認識を深めるとともにこれに対する備えを充実強化することにより、災害の未然防止と被害の軽減に資することを目的としています（内閣府ホームページ＞防災情報のページから引用）。これを機会に、ご一緒に防災への意識を高めましょう。



防災チェックにご協力いただいたお客さまに
携帯トイレを
プレゼント！



*商品の在庫には限りがあります。
また、予告なく変更する場合があります。

MSA
MITSUBISHI SUMITOMO AGENCIES

MS&AD 三井住友海上

裏面も
ご覧ください

防災チェックの項目（例）

<自然災害全般>

- 食品・飲料の備蓄
- 避難場所や経路の確認
- 防災グッズの準備



防災のアドバイスや
リスクに応じた保険の最適な
ご提案をさせていただきます！
チェックは無料です。
お気軽にお声かけください！

<地震>

- 家財の固定・配置場所
- 二次災害（火災）対策



<台風・豪雨>

- 屋外（敷地内）の状況



三井住友海上の代理店組織 **MSA** のご紹介

MSA (MITSUI SUMITOMO AGENCIES) とは、

三井住友海上火災保険株式会社の代理店で構成される組織です。

保険のプロフェッショナルとして、

お客さまに確かな安心と安全をお届けすることを目指し、活動しています。

自然災害が多発・激甚化している昨今の環境を踏まえ、地域の皆さまに貢献するため、
この度、「防災チェックサービス」をご提供させていただくこととしました。

なお、皆さまと一緒に
行なった

「防災チェック」の件数に応じて寄付※を実施予定です。

※寄付先は、被災地の復旧支援や防災・減災に取り組む支援機関等を予定しています。



自然災害に強い安心な街づくりに向けて 是非、一緒に取り組みましょう！

<ご相談・お申込先（取扱代理店）>

株式会社 ニック

電話：097-556-6053

住所：大分県大分市日吉町6-11

災害発生時の被害を最小限に抑え、生活を復旧させていくために必要なチェック項目です。ご自身と大切な方の安心・安全のために、しっかりと見直しましょう！

<共通>チェック項目

チェックの数

□ 飲料・食料などの備蓄は十分ですか？

個/4個

- ・3日分の飲料水(1人1日3リットルが目安)、非常食(ご飯、ビスケット、板チョコ、乾パン等)の備蓄が推奨されています。防災用の飲料・食料であっても賞味期限は3~5年程度が一般的です。いつでも使用可能な状態に維持できるよう、期限前の確認や賞替が必要です。
- ・トイレトーパー、ティッシュ、マッチ、ろうそく・カセットコンロ等の備蓄は大規模災害時には1週間分が望ましいとされています。また、飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要であり、水道水を入れたポリタンクや風呂の水を常に張っておくなどの備えが有効です。

□ 非常用持ち出しバッグの準備はできていますか？

- ・必要なグッズが漏れることを防ぐため、災害対策のプロである防災士が監修した防災グッズのセット購入をお勧めします。
- ・飲料・食料以外にも、防災ラジオやレスキューブランケットなど、当面の避難生活を想定した防災の備えが必要です。
- ・携帯電話の電源を確保するため、モバイルバッテリーや乾電池等を準備しましょう。

□ ご家族同士の安否確認方法は決まっていますか？

- ・災害時には携帯電話の回線がつながりにくくなるため、別々の場所で被災した場合でも互いの安否を確認できるよう、安否確認の方法や集合場所を事前に話し合うことが有効です。

□ 避難場所や避難経路は確認していますか？

- ・最新のハザードマップを家族全員で確認しましょう。
- ・豪雨・津波・火山噴火など、災害の種類によって安全な避難場所が異なるため、それぞれの災害をイメージして、どのように行動すれば安全に避難できるか考えることが重要です。
- ・市町村のHPには避難所・避難場所の一覧が掲載されています(「市町村 避難所」「市町村 避難場所」で検索可能)。



<避けるべきポイント(例)>

ブロック塀、河川、大きな看板、古い建物、ガラス張りの建物(ビル)、道幅の狭い道、がけ 等

<地震>チェック項目

チェックの数

□ 家具の置き方を工夫していますか？

個/2個

- ・家具は必ず倒れるものと認識したうえで対策しましょう。
- ・壁に固定し、寝室・子供部屋にはなるべく置かないようにしましょう。置く場合は、なるべく背の低い家具にしたり、倒れた時に出入口をふさいだりしないよう、向きや配置を工夫することが有効です。
- ・割れたら危険な窓や家具にはガラス飛散防止フィルムを貼ることが有効です。
- ・手の届くところに、懐中電灯・スリッパ・ホイッスル等を備えましょう。

□ 二次災害(火災)対策はしていますか？

- ・地震に起因して発生するおそれのある火災を防止するため、住宅用消火器や感震ブレーカー、火災警報器等の手配が有効です。消火器の使用期限確認や火災警報器の定期的な稼働確認等日頃のメンテナンスも意識しましょう。



<台風・豪雨>チェック項目

チェックの数

□ 建物の状況や屋外における家財の保管状況を確認していますか？

個/1個

<戸建>

- ・家の周りで強風によって飛ばされる可能性があるものは家の中に入れるか、頑丈に固定しましょう。
- ・雨水をしっかりと流せるよう、雨どいや雨水ますを清掃しましょう。
- ・雨戸は長期間使わないと錆などによって開けられなくなる場合があるので、事前にチェックしましょう。

<マンション>

- ・台風が近づいた場合は、バルコニーにあるものを室内へ移動させましょう。
- ・バルコニーの排水が追いつかず浸水してしまう恐れがあるため、雨が降り出す前に溝・排水溝を掃除しましょう。

<保険 | 火災保険>チェック項目

チェックの数

□ 再調達価額[※]基準で加入されていますか？

個/1個

- ・時価基準の場合、十分な補償を得られない場合があります。

□ 保険金額は適切に設定されていますか？

- ・インフレや材料価格の高騰等の影響により、過去に設定した保険金額が不十分な場合があります。

□ 保険始期日が2010年1月以降のご契約ですか？

- ・風水災リスクについて、保険種類(2009年12月に販売停止の住宅火災保険・住宅総合保険等)によっては十分な補償を得られない場合があります。
- ・上記以外でも、長期間ご契約内容を見直していない場合は、現在の環境にあった適切な補償内容となっていない可能性があります。

□ 家財は補償されていますか？

- ・家財を一度に買い揃える場合、想像以上に高額となるケースがあります。
- ・家財の補償をセットしていても、屋外(敷地内)にある家財は補償対象になっていないケースがあります。

□ 水災リスクは補償されていますか？

- ・過去10年間で、約98%の市町村が水災を経験しています。
- ・さらに集中豪雨や台風による水災被害は増加傾向にあります(高台であっても内水氾濫の危険があります)。



□ 地震リスクは補償されていますか？

- ・地震保険金は使用用途を問わないため、被災後の生活再建に幅広く活用できます。

<保険 | 自動車保険>チェック項目

□ 車両保険はセットされていますか？

- ・浸水による車両への損害等、自然災害への備えには車両保険のセットが必要です。



※ 損害が発生した時の発生した場所における保険の対象と同一の構造、質、用途、規模、型、能力のものを 再築または再取得するのに必要な金額

チェックの数 (合計)

個/14個

チェックの数が 14~13個：防災・減災の達人です！

12~10個：防災・減災の達人まであと少し！

不足している備えを確認しましょう。

9個以下：チェックできていない項目を見直し、しっかり対策しましょう。

株式会社 ニック

電話：097-556-6053

住所：大分県大分市日吉町6-11

・本チェック結果は、商品・サービス、その他保険業務の品質向上に利用させていただきます。

・お客様の個人情報は、個人情報保護法ならびに三井住友海上およびMS&ADインシュアランスグループのそれぞれの会社、三井住友海上委託代理店のプライバシーポリシーに基づき厳重に管理し、その他の目的には利用しません。